

十王町人口統計

(令和6年1月1日現在)

世帯数：5,100世帯

男：6,230人

女：6,545人

合計：12,775人

十王の風

十王地区コミュニティ推進会
広報第52号

発行日：令和6年2月9日

発行責任者：川井 健一

編集：広報部

「十王地区自主防災洪水訓練」開催



十王地区コミュニティ推進会 会長 川井 健一

多くの皆様にご参加を頂きまして、誠にありがとうございました。

この避難訓練は、近年頻発する豪雨災害に備え、水害時に適切な避難行動がとれるよう実施いたしました。

今回は、市防災対策課のご指導のもと、関係機関ほか、多くの企業様にもご協力を頂き、ブースや体験コーナーなども開設され、多くの知識を身につけられたのではないかと思います。

また、水戸地方気象台の湯浅地方防災官による防災講話では、貴重なお話を聞くことが出来たと思います。

当地区においても、9月に発生した台風13号による災害は記憶に新しく、今回は各地域で予期せぬ大きな災害をもたらし、身をもって災害の恐ろしさを痛感いたしました。

人は咄嗟の時、気が動転し何をすれば良いか判らなくなります。しかし、そのような時は、今回の訓練を思い出し冷静な状況判断をしてください。

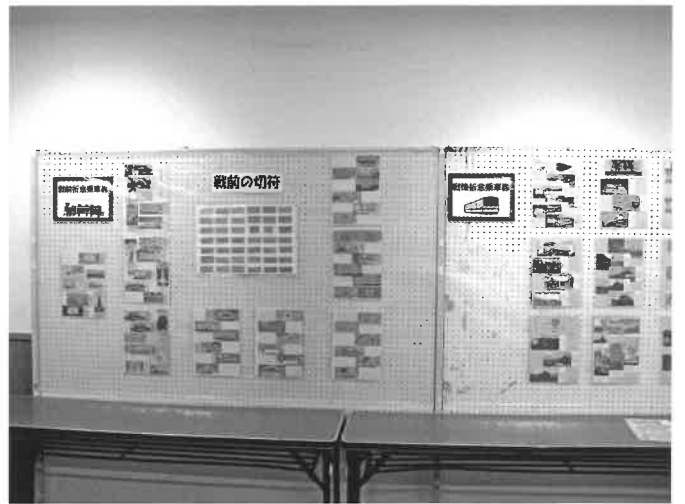
また、日頃から避難所、避難経路などを確認し、万が一、火災、災害時に慌てずに対処できるように心掛けて頂きたいと思います。

お陰様で、今回の訓練は、参加者の皆様のご協力により事故もなく、無事に終わることができ感謝申し上げます。

今回の訓練でご指導を頂きました日立市をはじめ、各行政機関、企業の皆様には改めて感謝申し上げますとともに厚く御礼申し上げます。

また、日赤奉仕団十王支部の皆様のご協力により豚汁が準備されており、おいしく頂いてからの解散となり、ありがとうございました。

生涯学習・作品展示発表会





友部海防陣屋跡



十王台遺跡群



伊師町一里塚

再発見ウォーク



友部海防陣屋跡から
長者山遺跡巡り



藻島駅路跡



長者山官衙遺跡

～あなたの“足”は大丈夫？～

十王で暮らし続けるためのお出かけ・お買い物の交通手段

日々の生きていく手立てとしての“足”はとても大切なもの。お出かけやお買い物には、なくてはならないものです。その“足”も人それぞれで、自家用車、バス、タクシー、電車等々、様々な交通手段を利用しています。しかし、車の免許返納後や路線バスの利用客減少による便数の削減など、十王で暮らし続けるためには、不安や悩みが山積み。「個人の足から地域の足」の必要なときが来ています。お出かけ・お買い物の便利なサービスや地域交通の新しい取り組みなどについて一緒に考えてみましょう。

◇日時 令和6年2月25日（日）午前10：00～11：30

◇場所 十王交流センター（多目的ホール）

◇内容 I 今、あなたのお出かけ・お買い物の“足”は何ですか？
お出かけ・お買い物の支援制度（運賃割引・配達など）

II 高萩市の「呼出型最適経路バス“MyRideのるる”」

高萩市役所 企画財政課 篠原 巧 氏

III 日立市の「地域モビリティ（移動体）」

日立市役所 都市政策課 狩野 茜 氏

◇対象者 十王地区に居住されている方

◇参加費 無料

◇主催 十王地区コミュニティ推進会環境部

◇申込先 2月13日（火）～19日（月）の間に

十王交流センター ☎39-2411 へ



★資料の準備がございますので、必ず事前申込みをお願いします。

◆問い合わせ先

電話 39-2133 環境部部长（大森哲郎）

■ 編集後記

私事ですが、今年が高萩の海岸で元旦神輿からスタートしました。初日の出とともに、ふんどし一丁の担ぎ手が海に入ります。清々しい気分でも新しい年を迎えましたが、夕方から能登半島地震や羽田空港での悲惨な事故のニュースが入ってきました。

今年一年を占うような、大変な年になってしまいそうな気になってしまいました。

今年も、さまざまな災害が発生するかもしれませんが、町内一つになって立ち向かって参りましょう！！

（芳賀）